

第七葛西小学校応援団実践報告書

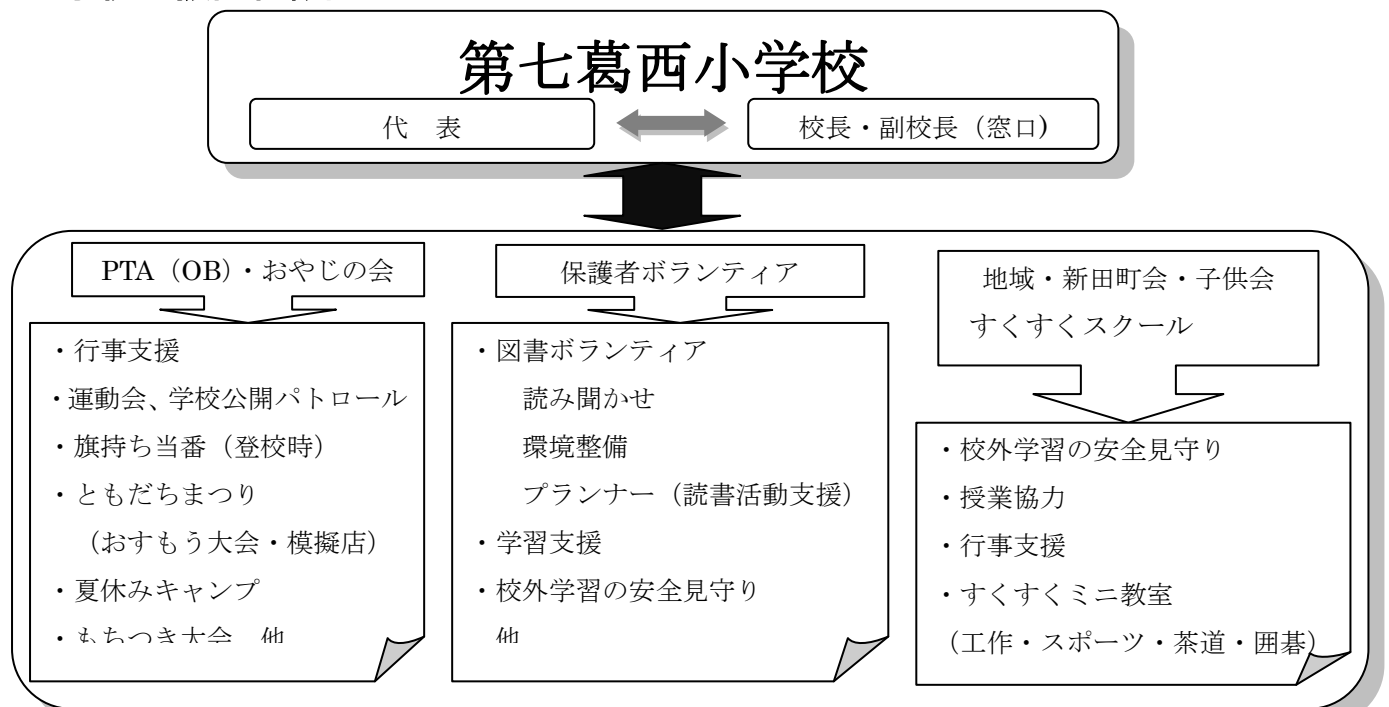
1 校長及び代表者氏名

第七葛西小学校長 川手 一則
代表 大矢 貫

2 今年度の活動内容

| 応援団の種類 | 応援団の名称 | 活動内容 |
|-----------------------|--|--|
| 学習活動支援 | 七小田んぼで米作り 昔の葛西を知ろう 大豆を育てよう | ○「田おこし」「田植え」「稲刈り」「脱穀」等の栽培活動指導・支援 ○稲わらを使った「縄ない体験」指導・支援 ○「海苔すき体験」指導・支援 ○「大豆栽培」「豆腐作り」指導・支援 |
| 学校行事・地域行事 PTA 行事支援 | 盆踊り・魚の放流など 新田フェスティバル 七小ともだちまつり (すもう大会) 夏休みキャンプ 七小もちつき大会 | ○引率支援、お店の運営など ○引率支援 ○模擬店の運営 すもう大会の企画・運営 ○イベント企画・運営 (おやじの会) ○企画・運営 |
| 読書活動 | 読み聞かせ 図書室環境 図書プランナー | ○学級での本の読み聞かせ・パネルシアター ○本の修理や本の整頓、図書室の環境整備 ○図書室利用児童の読書活動支援 |

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- ・地域、保護者を中心とした学校応援団の皆様には、今年度も学習支援を中心にご支援いただき、大変心強く、感謝申し上げます。
- ・「応援団」というまとまりとして組織されているということが、互いの連帯感を生み、情報交換の場となりました。
- ・学校だけでは、なし得ない学習や活動が、学校応援団の方々のご協力により出来たことは児童のために大変有意義でした。
- ・予算の面での裏付けがあり、使用用途の幅も途中で広げていただいたことにより、活動を広げることができました。

<課題>

- ・保護者の皆様に学習活動支援や行事でのお手伝いをお願いし、十分に連携できたことは、保護者の皆様とは連絡が取りやすいことが要因だと思います。地域や町会の皆様や保護者のOB・OGの皆様との連携についてもさらに密に連絡を取り合って進めていきたいと思っています。そのためにも活動状況の報告をさらに発信していきたいと思っています。
- ・図書ボランティアの方々には何年も前より読書活動へのご支援をいただいておりますが、読書科の推進のためにも、「読み聞かせ」・「環境整備」・「プランナー」という三本柱の活動を大きな一つの組織の中に位置づけ、互いに連携することで、一層充実した活動ができると考えております。

5 代表より

本年度の事業も、PTA、教職員、おやじの会のメンバー、地域の皆様のご協力により、無事に年度末を迎えられたことを深く感謝申し上げます。

これからの課題としては、各学校が防災の拠点となることになりましたが、実際に防災拠点として機能するのかということを考えなくてはならないと思います。そのためにも学校に関わる全ての皆様と話し合う機会を設けていくことが必要です。今年度、おやじの会主催の夏休み親子キャンプではイベントの中に防災訓練を取り入れました。そうした取組を確実に積み重ねていくことも大切であると思います。

子供たちと地域のために、何時来るか分からない災害に対しての備えを充実することは急務と考えます。

6 学校長より

保護者の皆様はもとより、PTAやおやじの会の皆様、OB・OGの皆様、新田町会の皆様、子供会の皆様、そして古くからここ葛西の町を知り尽くした地域の方々の多大なるご支援のもと、今年度も一年間、特色ある教育活動を行うことが出来ました。また、地域の防災拠点としての学校の役割が求められる中、地域と学校との一層の連携強化が必要になってきております。そうした観点におきましても学校応援団の皆様には今後もますますのご協力をいただきたいと思います。また、今年度より江戸川区では読書科が新設されましたが、本校では何年も前よりボランティアの方々が支援をしてくださっていることで安心して推進出来ております。改めて感謝いたします。どんなに時代が変わろうとも子供は地域の宝です。保護者や地域の皆様と学校の絆を深め、地域と第七葛西小学校がより一層発展していくことを心より願っております。